# 無事故・無違反の「達人」

長年に及ぶ無事故・無違反は、運転のエキスパートであるプロドライバーにとっての誇り。ドライバーはそれぞれ「運行ルートの下調べを徹底する」「運転中に怒りや焦りをつくらない」「周囲をよく見る」「法定速度を守る」などマイルールを決めて日々の安全運転を積み重ねている。20年以上無事故・無違反を貫く「達人」たちに安全への思いや秘訣を聞いた。

## 迷惑掛けない運転率先

**ヤマラク運輸　長岡　雄一氏**

「良く周りを見ること、まずは周囲を確認しないと状況判断はできない」と語るのは、24年間無事故・無違反を継続しているヤマラク運輸（山口長一社長、山形県白鷹町）の長岡雄一氏(57)。1992年に入社。現在は送乳係長を務め、集乳した山形県産の牛乳を大型タンクローリー車で関東や東北各地へ運んでいる。上司からの信頼が厚く、後輩ドライバーの教育も任されており、「謙虚な気持ちで、周りに迷惑を掛けない運転を心掛けること」を率先して示し、指導している。

安全運転のポイントは「周りを良く見る」ことに加え、「前日は良く眠る」「飲みすぎない」など体調管理の徹底を図ること。更に、制限速度を守り、不測の事態に対応できるように「車間距離」を取ることとし、「日頃から万全に備えている」と話す。

### 奇麗な車両で印象良く

仕事への心構えは「トラックは奇麗に、愛車精神で事故防止」。タンクを磨き、ピカピカの状態を常に保っている。「奇麗なタンクを乗せてトラックを走らせることは、荷主だけでなく、トラックを見掛けた人からの印象も良くなるのでうれしい。ドライバーである限り、今後も無事故・無違反で頑張っていきたい」と意欲を示す。

（鈴木明香理）

## 運行ルート下調べ徹底

**エスエーサービス　南田　武志氏**

エスエーグループのエスエーサービス（坂中亮善社長、大阪市住之江区）に勤務する南田武志氏(65)は「一番大事なのは、焦らないこと。若手の見本となることを心掛ければ、恥ずかしい運転はできない」と語る。

3年ほど前まで長距離輸送をしており、現在はトレーラで地場の建設現場に鉄製品などを運んでいる。25歳でエスエーグループに入社し、社歴は40年。近畿運輸局から2021年度の自動車関係功労者表彰の永年勤続功労を受賞した。

### 若手の見本を心掛け

時間に余裕を持ち、落ち着いて運転できるよう、運行ルートの下調べを徹底する。運転時には周囲の確認を怠らない。また、ドライバー歴を積み重ねた上での「長年の勘」も事故を避けられる大きな要因だという。

「走れば走るだけ良いという時代から、コンプライアンス（法令順守）の徹底が更に求められる時代になり、安全運転の重要性は増している。これからも物流の維持に関わり社会に貢献するとともに、自分の誇りであり、天職でもあるトラックドライバーという職業のイメージを汚さないよう事故防止に努める」

（根来冬太）

## 対抗心持たず定速走行

### 無駄な車線変更しない

**原田運送　髙橋　聡氏**

原田運送（原田大志社長、神奈川県横須賀市）の髙橋聡氏(52)はドライバー歴31年、無事故・無違反歴20年。安全運転のポイントについて「対抗心を持たないことと、定速走行を保つこと」と話す。

大型車に乗務し、自動車部品や野菜の輸送に従事。自動車部品輸送では静岡―岩手など長距離も多い。

無事故の秘訣は、他の車に妙な対抗心を持たないこと。「抜かれた、あおられた、幅寄せされた、を気にしない心のゆとりが大切。これができるようになると事故は一切なくなる。運転に集中することは大事だが、集中しすぎて他の車の動きが気になるのは良くない。ラジオなどをかけて適度にリラックスすることも必要」

また、一般道、交通量の多い複数車線道路、高速道路など、道路によって適切な速度を一定に保つことを心掛けている。

「一定速度を維持し無駄な車線変更もしない。そうすると信号の変わり目でもスムーズに停止できる。事故も違反もなくなり荷崩れも起きず、いいことずくめ。会社がドライバー一人ひとりをきちんと見てくれていることも、安全運転の継続に結び付いている」

（吉田英行）

## あおられても割り切る

### 原動力「父を超える」

**幸栄運輸　永島　庄司氏**

双葉運輸グループ（為廣尚武代表、広島市西区）の幸栄運輸（同）で活躍する永島庄司氏(48)は、勤続28年以上の長距離ドライバー。無事故・無違反歴は26年を超え、安全運転のレベルはグループ千人以上のドライバーの中でも10本の指に入ると評される逸材だ。

運転の心構えは「当たり前のことを当たり前のようにやる」、無事故の秘訣は「たまたま運がいいだけ」。高速道路を走行中のトラックはあおられるケースも少なくないが、「気を使って運転しているが、あおられたら仕方がないと割り切ることができるし、譲り合ってくれるドライバーもいる」と、いたって平静だ。

この職業を選んだのは「長距離ドライバーに憧れたから」で、運送会社での勤務は同社一筋。「向いている仕事だが、いつかはトラックを降りる日が来るので、最近はこの仕事を次にどう生かせるか考えながら乗務している」と、将来を見据え始めている。

ドライバーが天職なのは偶然ではない。父親の恭男氏(72)は現役時代に観光バスや路線バスの運転者をしていて、45年にわたり無事故・無違反を貫いたプロ中のプロだ。「父の記録を超えるのが目標だが、年齢的にもさすがに難しいと感じている。それが悔しい」。この気持ちこそ、無事故・無違反の原動力に他ならない。

（矢野孝明）

## 怒り・焦りつくり出さず

### 流れに合わせた走り方

**三福運輸　齋藤　浩氏**

三福運輸（五月女奈緒美社長、新潟県新発田市）の齋藤浩氏(50)は「高速道路や自動車専用道路、県道、市道など、それぞれふさわしい走り方がある。周囲や交通の流れに合わせると言ってもいいかもしれない」と安全運転での留意点を話す。運転記録証明書（SDカード）の記録によると、人生の半分を無事故・無違反で過ごしている。

建設会社で生コン輸送に携わっていたが、三福運輸に勤める友人に誘われ、2020年秋に入社。以来、大型車のハンドルを握り、関東方面への業務に汗を流す。

無事故を続けられるのは「単に運が良かったから」と言いながら、その背景には深い思慮がうかがえる。前の職場では管理者的な立場にあり、アンガーマネジメントを特に心掛けている。

「急な割り込みをされても、イラっとしないよう努める。その後、当該車両はしばらく前方で走ることになるが、それではなかなか気持ちが収まらない。逆に、いったん速度を落とし、あえて離れて走行する。その方が、早く気分が落ち着く。怒りや焦りをつくり出さないようにする」と事故防止の秘訣を明かす。

（河野元）

## デジタコ点数1位意識

### 交差点・狭い道で減速

**バンボード運輸　野中　正明氏**

「やりがいを感じるのは運行終わりにデジタルタコグラフに100点が表示された時。毎月社内に掲示される順位で1位になれるよう意識して運転している」と話すのは、バンボード運輸（吉原啓介社長、佐賀市）の野中正明氏(62)。32年間無事故・無違反を継続している。

4トントラックで福岡や長崎方面に向けた病院のリネン貨物の輸送を担う。「法定速度を守り、突然の飛び出しなどに対応できるよう交差点や狭い道では特に減速するよう心掛けている。負けず嫌いな性格で、デジタコが導入された当初は1位になるために意識して走っていたが、1、2年続けるうちに安全運転が身に付いてきた」と話す。

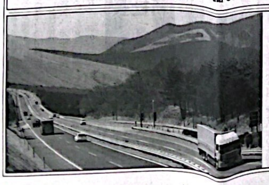
そんな野中さんに吉原社長は「社内で1番のドライバー」と太鼓判を押す。「野中さんのデジタコ結果は毎回コピーしたかのように正確で、丁寧に運転している。他のドライバーも野中さんの背中を見ることで、社内全体で事故防止の意識が高まってきた」

野中氏は「トラックにはお客さんと会社の名前が書かれている。これからも定期的なメンテナンスでトラックを奇麗に保ち、看板に恥じない安全運転を行っていきたい」と語る。

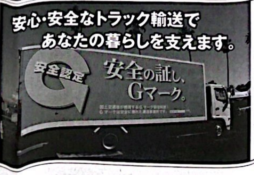
（髙松美希）

秋の全国交通安全運動
山口県トラック協会では、「追突事故の防止」「交差点事故の防止」「飲酒運転の根絶」を最重点項目として安全運行の確保に積極的に取り組みます。
一般社団法人 山口県トラック協会
会長 喜多村 誠
〒753-0812 山口市宝町2番84号 電話 083(922)0978 FAX 083(925)8070

暮らしを支え、環境を守り、笑顔と夢を運ぶ
信頼の「緑ナンバー」トラックです
公益社団法人 佐賀県トラック協会
会長 馬渡 雅敏
副会長 鳥屋 正人 城内 嘉夫 愛野 辰昭
〒849-0921
佐賀県佐賀市高木瀬西3－1－20
TEL 0952-30-3456 FAX 0952-31-6441
URL http://www.satokyo.jp/ E-mail info@satokyo.jp



安全・環境保全宣言
安全運転を心掛け、
自然の恵みを大切に
社会と共生する
トラック輸送を目指します
〜環境保全を維持するために適正な運賃が必要です〜
公益社団法人 大分県トラック協会
会長 仲 浩
URL http://www.ota.or.jp



安心・安全なトラック輸送で
あなたの暮らしを支えます。
Run for YOU
公益社団法人 鹿児島県トラック協会
会長 鳥部 敏雄
〒891-0131 鹿児島市谷山港2丁目4番15号
TEL 099-261-1167 FAX 099-261-1169
URL http://www.kta.jp E-mail kentora@kta.jp

（面担 岩渕彩香）